

今月の御教え

お天道様のお照らしなさるのもおかげ、雨の降られるのもおかげである。人間はみな、おかげの中に生かされて生きている。人間は、おかげの中に生まれ、おかげの中で生活をし、おかげの中に死んでいくのである。

……「天地は語る」第五十六条……

解説

ここ数年来、知人や後進の訃報を耳にしますと、その生前の姿が偲ばれ、寂寥の感に襲われるとともに「死」によって、彼らの人生の全てが無に帰すと思うと、やりきれなく、翻って私自身の死も考え、恐ろしくもあります。

しかし金光大神様は、この御教えの如く、人間は「生きても死んでも天地のお世話になる」のであり「魂は生き通しである」と明言されています。

私達はこの御教えを真に悟ることが出来れば、全てを神様にお任せして大安心の境地を得ることが出来るでしょう。このような死生を通して揺るぎない大安心の境地を「安心立命」といい、それは、我々信仰者が目指すべき、信心の極致であります。そして、この「安心立命」の境地に至る為には、私達個々の弛まぬ日々の精進が欠かせませんから、ここから一層、日々の信心の稽古に勤しみ、共にそのような大御蔭を頂きたいものであります。